

光学式USBワイヤレスマウス

取扱説明書・保証書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

SMU-WM10

© 2005 Sony Corporation Printed in China

品名 光学式USBワイヤレスマウス

型名 SMU-WM10

保証書 T11-1001A-4

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保証書以完成胶片。

⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記のものをよくお読みください。

- ① この取扱説明書の注意事項
- ② お使いになるコンピュータに付属の取扱説明書

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったたら
- ・製品を落としたり、本体表面を破損したときは



お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意

注意を促す記号



禁止



分解禁止

⚠ 注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、故障の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。そのままコンピュータに接続すると、コンピュータの故障の原因になることがあります。



内部を開けない

内部の点検、修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

アルカリ単4形

⚠ 危険

乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠ 警告

機器の表示に合わせて+とーを正しく入れる。
充電しない。

火の中に入れない。分解、加熱しない。

コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。

液漏れした電池は使わない。

使いきった電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。

新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠ 注意

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

指定された種類以外の電池は使用しない。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac、MacOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標または商標です。
- Power PCは、米国IBM Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

本機は、Windows XP Media Center Edition 2005、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows 98 Second Edition、Mac OS 9.1以降のみ対応です（日本語版標準インストールのみ対応です）。

本機は、上記以外のOSでの動作を保証しておりません。

本機は、上記OSのプリインストールされたコンピュータ以外での動作を保証しておりません。

本機は、OSをアップグレードしたコンピュータでの動作を保証しておりません。

本機は、コンピュータの環境によっては、対応機種であっても動作を保証しておりません。

本機は、コンピュータの環境によっては、対応機種であっても動作を保証しておりません。

本機は、光式センサーを使用したマウスです。光式センサーの特質上、ガラス、鏡、光沢のある面など、マウスをお使いになる場所によってセンサーが誤動作し、正常に動かないことがあります。その場合、マウスパッドをお使いになるか、ほかの物を下に敷くか、または場所を変えてお使いください。

* 一部のマウスパッドで、マウスの動作がおかしくなることがあります。

本機をUSB端子へ接続するときに、プラグを傾けたり、ゆっくり差し込んだりすると誤動作の原因となることがあります。接続するときは、垂直にすばやく差し込んでください。

お使いのコンピュータによっては、USB端子に接続してもマウスが認識されず動作しない場合があります。その場合はUSBプラグを抜き、約5秒待ってから再び差し込んでください。それでも動作しない場合は、本機を接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。

本機を使用するときは、USBハブは使用しないで、コンピュータのUSB端子にプラグを直接接続してください。

省電力モードからの復帰後、マウスが動かなくなった場合はUSBプラグを接続し直すか、マウスの受信ユニットを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のカイダンスが流れている間に

「999」+「#」

を押してください。直後、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金9:00～20:00 土・日・祝日9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

主な仕様

インターフェース USB

コネクタ USBプラグ

分解能 800 counts/inch

送信周波数 27 MHz

チャンネル 1ch 8190ID

電界強度 500 µV/m

到達距離 約1 m (この距離は、およそその目安であり受信環境により短くなる場合があります。)

電源 単4形アルカリ乾電池×2

対応機種 - IBM PC/AT互換機 (CPUはPentium相当以上)

- Apple製コンピュータ (CPUはPower PC G3/G4/G5 350MHz以上)

- Windows XP Media Center Edition 2005、

Windows XP Media Center Edition 2004、

Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows 98 Second Edition

- Mac OS 9.1以降 (Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。)

動作温度 5 °C ~ 35 °C

動作湿度 20 % ~ 80 % (結露のないこと)

保存温度 -10 °C ~ 60 °C

保存湿度 10 % ~ 90 % (結露のないこと)

外形寸法 マウス本体 約54 × 18 × 86 mm
(幅 × 高さ × 奥行き)

受信ユニット 約16.6 × 8.6 × 51 mm
(縦 × 横 × 高さ)

マウス本体 約70 g (電池含む)

受信ユニット 約10 g

約2.5ヶ月 (一般使用時) (注) (単4形アルカリ乾電池使用)

付属品 受信ユニット (1)、専用接続ケーブル (1.5m) (1)、単4形乾電池 (2) (お試し用)、取扱説明書・保証書 (本書) (1)

質量

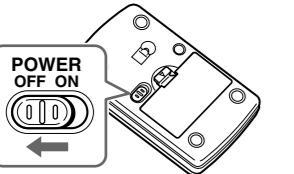
電池持続時間

付属品

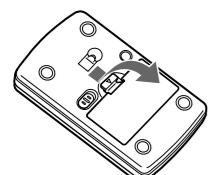
</

電池の入れかた

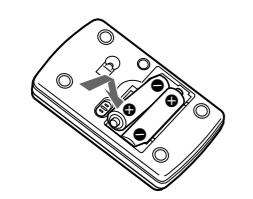
1 マウス本体底面にあるPOWER ON/OFFスイッチをOFFにする。



2 電池フタを図のように開ける。

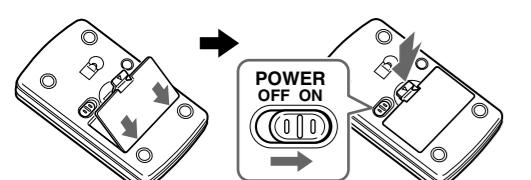


3 +とーの向きを確認し、乾電池2本を入れる。



4 電池フタを図のように閉じる。

POWER ON/OFFスイッチをONにすると、光学センサーLEDが点滅します。



ご注意
• 付属の乾電池はお試し用ですので、新しい乾電池より使用時間が短くなります。お使いになる際には、新しいアルカリ乾電池をおすすめします。
• 航空機内での無線機器の使用は、航空機の運行に支障をきたす恐れがあるため禁止されています。本機を機内に持ち運ぶ場合は、ボタンなどが押され、電波が発生する恐れがありますので、電池を抜いて携帯してください。

節電について

本機は、電池の消耗を抑えるためにPOWER ON/OFFスイッチとスリーブモード機能を搭載しています。

POWER ON/OFFスイッチ

本機のPOWER ON/OFFスイッチをOFFにすると、電池の消耗を抑えます。

スリーブモード

本機をしばらく使わないと入力が感知されないため、自動的にスリーブモードに入り電池の消耗を抑えます。

本機を使わないと

図のように本体底面にあるPOWER ON/OFFスイッチをOFFに切り換えておくと、電池の消耗を抑えることができます。
ただし長時間使用しないときは電池を取り外してください。電池が消耗していくと、本機の動きが悪くなります。その場合は、新しいアルカリ乾電池と交換してください。

電池の交換時期

電池が消耗していくと、普段使用しているマウス本体と受信ユニット間の距離が短くなっています。この場合、ワイヤレスマウスの機能を引き続き利用するために新しいアルカリ乾電池を準備してください。

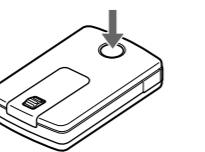
新しい電池に交換してもマウス本体と受信ユニット間の距離が短くなっています。この場合は、取扱説明書内の「ワイヤレスマウスの設置環境について」をお読みください。また、マウス本体の底の光学センサーLEDが消灯しますと、電池が無くなり動作しません。

この様な場合には、新しいアルカリ乾電池と交換してください。

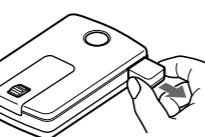
受信ユニットの取り外しかた

マウス本体に収納した受信ユニットを、以下の手順で取り出すことができます。

1 リリースボタンを押す。



2 矢印の方向に受信ユニットを取り出す。



ご注意

本機をお使いになるときは、本体から受信ユニットを取り出しているか確認してください。

ワイヤレスマウスを接続する

本機は、USB接続に対応したワイヤレスマウスです。現在ご使用中のマウスが接続されている場合は、そのマウスを取り外してください。

ご注意

• 本機の受信ユニットをコンピュータに接続するとき、またはコンピュータを起動するときは、認識されるまで本機を動かさないでください。
• USBハブを使ってコンピュータに接続しないでください。
• コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

• USB端子から受信ユニットを取り外したあと差し直す場合は、約5秒待ち、再び差し込んでください(デバイスの認識がされない場合があります)。

• 受信ユニットをコンピュータに接続した状態で、受信ユニットに力を加えると、受信ユニットが破損したり、コンピュータが故障したりする場合がありますので、注意してください。

• ノートブックコンピュータを持ち運ぶときは、必ず受信ユニットを取り外してください。(ノートブックコンピュータに)受信ユニットを接続したまま持ち運ぶと、破損の原因になる場合があります。

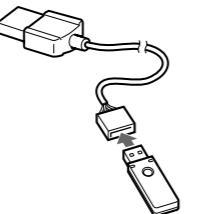
専用接続ケーブルの使いかた

USB端子がコンピュータの背面にあったり、コンピュータの本体を机の下に設置してあるなど、本体を受信ユニットから離れた所で使うときは、受信ユニットを付属の専用接続ケーブルに接続すると、受信ユニットを本体の近くに置いて使えるようになります。

1 専用接続ケーブルのジャック部に受信ユニットを図のよう

に差し込む。

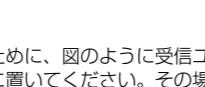
受信ユニットの凸部と専用接続ケーブルの凹部を合わせてください。



2 本体面にあるSETボタンを約10秒以内で押す。

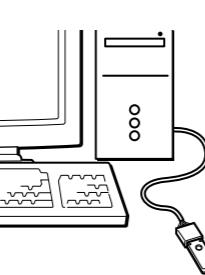
正しく設定ができると、本体を動かしたときに、ポイント

が動きます。ポイントが動かない場合は、もう1度手順1から行なってください。



3 専用接続ケーブルをコンピュータのUSB端子に接続する。

※ヒント
受信状態を安定させるために、図のように受信ユニットをコンピュータ側に置き、本体を手前に置いてください。その場合、本体を動作させて、本体からの信号を受信しやすい位置に受信ユニットを設置してください。



受信ユニットの収納のしかた

本機を使用しないときは、受信ユニットをマウス本体に収納することができます。

下図のように、受信ユニットを本体の収納口へ「カチッ」と音がするまで、ゆっくり差し込んでください。



受信ユニット収納口

Windowsをお使いの場合

本機は、受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続するだけで認識され、使用できるようになります。はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。

※ヒント

• 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取り外したりすることができます。
• ポインタの速度設定などは、マウスプロパティを開いて行ってください。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1以降をお使いの場合は、受信ユニットをUSB端子に接続するだけで、本機が認識され使用できるようになります(Mac OS 9.xは1ボタン仕様)。

はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。

※ヒント

• 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取り外したりすることができます。
• ポインタの速度設定などは、OS標準のマウス設定画面から行ってください。

ワイヤレスマウスを使うための設定

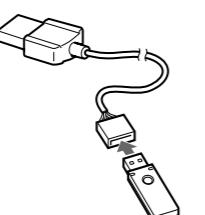
本機をはじめて使う前に、受信ユニットにマウス本体を認識させます。はじめに、受信ユニットをコンピュータに接続してください。接続方法については、「ワイヤレスマウスを接続する」をご覧ください。

ご注意

受信ユニットと本体を10cm位に近づけて、認識させてください。(認識が終了するまで、本体を受信ユニットから離さないでください。)

1 受信ユニットの表面にあるSETボタンを押す。

受信ユニットの凸部と専用接続ケーブルの凹部を合わせてください。

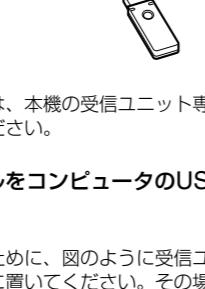


2 本体面にあるSETボタンを約10秒以内で押す。

正しく設定ができると、本体を動かしたときに、ポイント

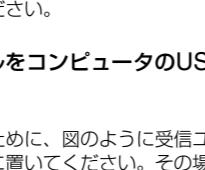
が動きます。ポイントが動かない場合は、もう1度手順1から

行なってください。



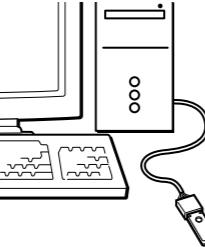
3 専用接続ケーブルをコンピュータのUSB端子に接続する。

※ヒント
受信状態を安定させるために、図のように受信ユニットをコンピュータ側に置き、本体を手前に置いてください。その場合、本体を動作させて、本体からの信号を受信しやすい位置に受信ユニットを設置してください。



受信ユニットと本体の設定時以外に、本体側のSETボタンを押さないようにしてください。受信ユニットの認識が解除され、動作しなくなります。

SETボタンを押してしまって、動作しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。



ワイヤレスマウスの設置環境について

マウスを動かしても、ボイントがときどき動かない

本機は、受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続するだけで認識され、使用できるようになります。はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。

※ヒント

• 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取り外したりすることができます。
• ポインタの速度設定などは、マウスプロパティを開いて行ってください。

マウスのボタンを押しても反応しない

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

共通

症状

原因/対策

マウスがまったく動作しない/ボイントが動かない

• 新しい電池に交換してください。
• マウスからの電波が受信ユニットが受信していない

→ 受信ユニットを、マウスに近づけてください。それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。

• 対応以外のOSを使用している。
→ 対応OSをお使いください。

• スクロール機能に対応していないソフトウェアを開いている。

→ ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していない場合があります。

• ホイールを回転してもズーム機能が動作しない

• アプリケーションがズーム機能に対応していない

→ ズーム機能に対応したアプリケーションのみ機能します。

マウスを動かし、ボイントが動くまでに時間がかかる

• マウスがスリープモードになっている。
→ マウスをしばらく使わないと、電池の消耗を少なくするためスリープモードになります。ボイントが動きだすまでに時間がかかる

ます、故障ではありません。

• ノートブックコンピュータでポイント速度が設定できない

→ 起動しているソフトウェアを終了してから、USBプラグを接続し直してください。USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を取り外したあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。

• USB端子からの認識がされていない。

→ コンピュータに別のUSB端子がある場合は、別のUSB端子の接続を、お試しください。

(USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を取り外したあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。)

→ マウスの受信ユニットを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。それでもマウスがまったく動作しない場合は、何度かこの操作を繰り返してください。

• ハブやキーボード経由の接続をしている。

→ コンピュータに直接接続してください。

• POWER ON/OFFスイッチがOFFになっている。

→ POWER ON/OFFスイッチをONにしてください。

• ハブやキーボード経由の接続をしている。

→ コンピュータに直接接続してください。

省電力モードからの復帰後、マウスが動かない。